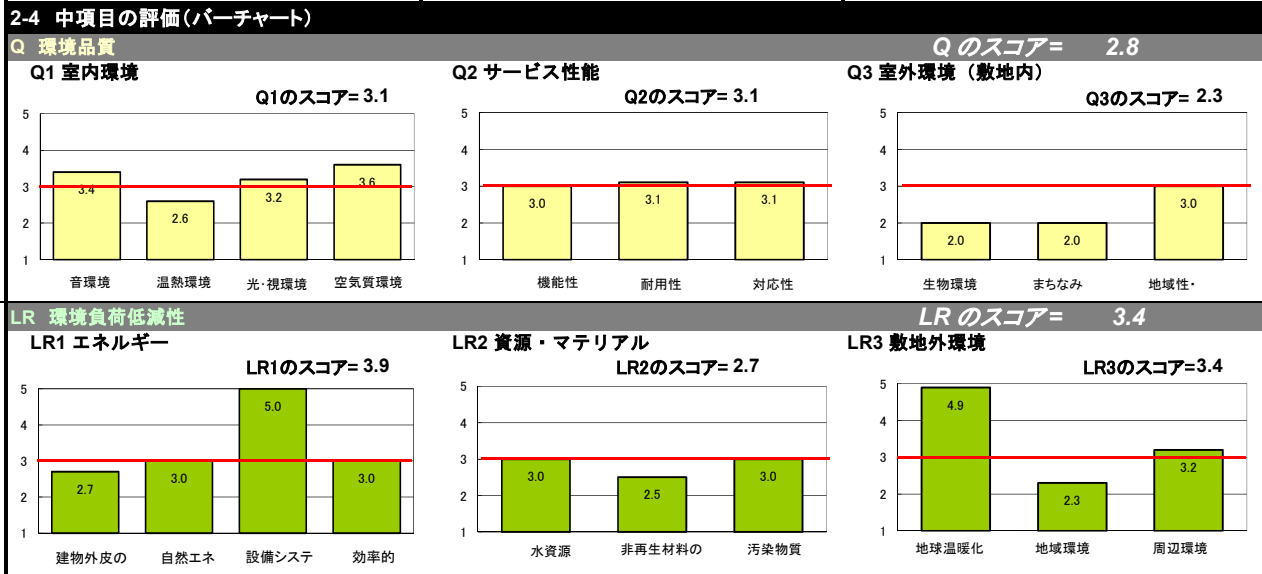
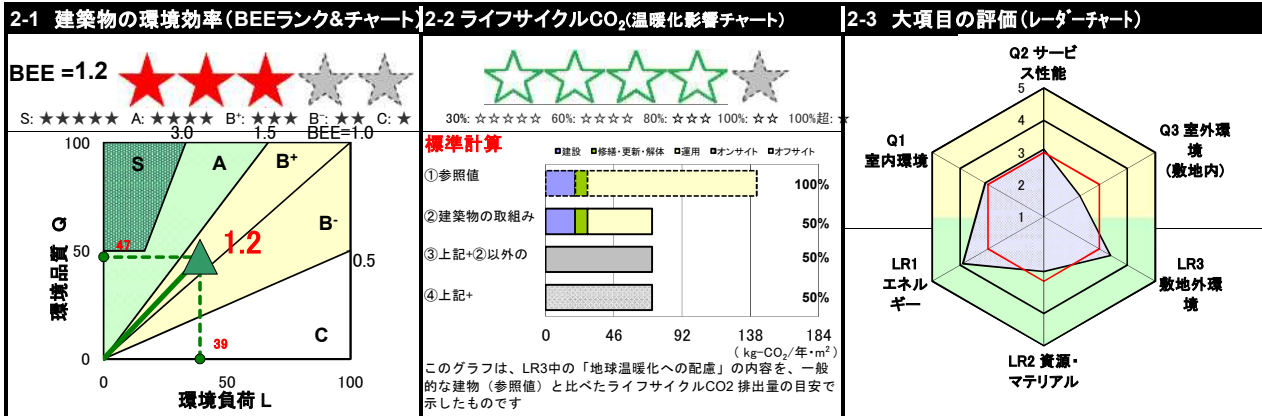
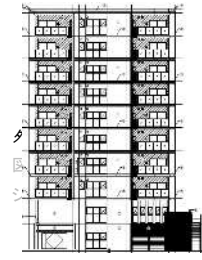


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	シュリンプタワー新築工事	階数	地上10階
建設地	神奈川県海老名市扇町2番1、2番2	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	飲食店集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年4月12日
敷地面積	1,175㎡	作成者	高松建設株式会社 東京本店 一級建築士事務所
建築面積	352㎡	確認日	2024年4月12日
延床面積	2,918㎡	確認者	高松建設株式会社 東京本店 一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合	特になし。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	住戸・店舗の建具はT-2性能のものを採用し、内装材はF★★★★のものをほぼ全面に採用している。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	住宅基準階部分の天井高さは2.5m以上を確保し、主要な用途上位3種の2種類以上の配管素材にB以上を使用し、配管設備の更新必要期間を少なくしている。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	特になし。	その他
LR1 エネルギー	住宅部分のBEI値0.76、非住宅部分のBEI値0.10	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	汚染物質含有材料の使用回避として、ODP、GWPが低い発泡剤を採用している。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO ₂ 排出率50%	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される